

こころざし

笑顔 ありがとう



健気に

早いもので令和3年度が終わりを迎えようとしています。新型コロナウイルスは容赦することなく私たちに影響を及ぼし続け、振り返れば今年度も制限ばかりの一年となりました。

「コロナさえなければもっと活動的な授業ができたのに」
「コロナさえなければいつものように体育大会ができたのに」
「コロナさえなければ腹の底から声を出して歌えたのに」
「コロナさえなければ給食の時間はもっと楽しかったらうに」
「コロナさえ・・・」



言いたいことは山のようにあるに違いありません。

しかし、榛中生の口からそういう言葉を聞くことはありませんでした。

今許されていることに黙々と力を注ぐその心構えは、多くの制限をされたからこそ育まれたものなのかもしれません。

例年通りのことは行うことができない一年となりましたが、「健気さ」という品格が榛中生に身についたことは間違いありません。



一年間、榛中をささえていただいたことに感謝申し上げます。来年度も榛中をよろしくお願いいたします。



感謝を伝える活動が進行中

前号でも紹介した感謝を伝える活動の計画が進行中です。全校に呼びかけて集めたメッセージカードを束ねて、リボンできれいに飾っています。

自分たちを応援してくれている方々の存在に気づくことも大事、感謝の気持ちをもつことも大事、感謝をどんなふうに表示するのかを考えることも大事。榛中生は、今とても大切なことを学んでいます。

